

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

GUIDEBOOK

助産学分野

医療福祉学研究科

■修士課程 保健医療学専攻

- ・実践コース
- ・修士論文コース

■博士課程 保健医療学専攻



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

ごあいさつ



分野責任者
大田原キャンパス
鈴木 由美 教授(博士)

助産師教育の世界基準として、2010年に国際助産師連盟(ICM)が「看護基礎教育修了後の教育課程の最短期間は18か月間」と指針を打ち出してから10年以上が経過しました。

また女性の多様性に対応できるための高度実践、基本的なプロセスを踏まえた課題研究、将来的に大学での教育職・研究職、管理職などキャリアアップに繋がることを念頭におき、充実したカリキュラム編成といたしました。

そして、修士・博士課程などの論文コースでは、働きながらの学位取得を可能とする融通性をもたせたカリキュラムとなっており、博士課程も修了生を輩出しております。

ぜひ、志がある方のご入学をお待ち申し上げております。

教員紹介



大田原キャンパス

鈴木 由美 (教授) 研究テーマ: 助産師のキャリア形成、職業継続
森越 美香 (准教授) 研究テーマ: 育児支援・親役割取得過程、周産期ケア
伊藤 美由紀 (助教)

■ 教育内容等に関するご相談

suzuki-yu@ihwg.jp (鈴木 由美)

修了生・入学生の声

博士課程



博士課程 2020 年度修了生
賴 玉敏 (Lai Yumin) さん (元培医事科技大学看護学科)

お母さんの主体性を大切にしたい出産ケアの質を探究するため、日本に留学しました。
大学教員で2人の子どもがいる立場として、家族や周囲の支援を受け、勉学を継続できました。特に COVID-19 の感染拡大下でもオンラインで指導が受けられ、博士論文審査に合格できました。



博士課程 2021 年度修了生
座波 ゆかり さん (東海大学医学部看護学科)

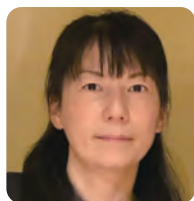
母子の支援への貢献および研究者としての自立を目指し、入学しました。看護系大学の専任教員、家庭との両立など多様な役割を抱えて、時間の確保に苦慮し、諦めかけたこともありましたが、オンラインの活用などでタイムリーに指導や相談ができた助かりました。

修士課程



修士課程 (実践〔資格取得コース〕) 第15期修了生
山崎 瑠美 さん (国際医療福祉大学病院)

私は、国際医療福祉大学で看護師の資格を取得し、進学しました。分娩助産実習は10～15例、さらには5週間の助産所実習など、内容の濃い実習ができます。
実習での疑問や興味のあることに対し、2年次の課題研究で学びを深めることができ、大変有意義でした。



修士課程 (修士論文コース) 第17期入学生
木原 博子 さん (東京山手メディカルセンター附属看護専門学校)

看護教員として働く傍ら、週1～2回は夜間にオンライン講義の他、休日は対面指導もあります。共通科目にeラーニング学習もあるため、自分のペースで進めることができ、仕事を休まず両立が可能な大学院だと思います。
大学院入学で、自己の更なる成長に向け新たな挑戦を始めましたが、知識を得る楽しさを感じ、大変ではありますが、充実した日々を送っています。

カリキュラム

博士課程

【学位】博士（助産学） 【教員スタッフ】指導教員：鈴木 由美（教授）

研究テーマ例：「台湾の高齢初産婦における育児自己効力感尺度の開発とその信頼性：妥当性の検討」
「初産婦における無痛分娩の選択に関する意思決定プロセス」

単位数

12単位以上

修士課程

女性および子ども・家族の幸福に寄与できるケアの開発研究や、根拠に基づいた高度な実践力をもち、
他分野と協働して母子保健に貢献できる研究者・教育者・実践者を育成します。

実践コース

多様化する妊産婦への支援または
女性の健康支援における高度実践者の育成

助産師有資格者

助産師有資格者は
本学の各キャンパスで授業を受講可能

有資格者のスキルアップ

助産所や海外での実習を通して
助産師としての実践能力の向上をめざす

専門科目

- 実習Ⅴ（高度実践）
- 助産学課題研究Ⅰ・Ⅱ
- 助産管理学特論
- 母性看護学・助産学教育論

単位数

30単位以上

*専門科目は、各自の所属キャンパスでの受講となります。

修士論文コース

研究者・教育者の育成

助産師有資格者

長期履修制度が利用可能
（修士課程）

研究

他領域との学際的な研究方法を通して
助産学を追求できる

専門科目

- 助産学特別研究Ⅰ・Ⅱ

単位数

30単位以上

【定員】20名 【修業年限】2年 【学位】修士（助産学） 【取得資格】受胎調節実地指導員申請資格

【履修要件】

- ・修士論文コースは所定の科目30単位以上を履修し、修士論文審査に合格する。
- ・実践コース（助産師有資格者）は所定の科目30単位以上を履修し、課題研究審査に合格する。

実習施設

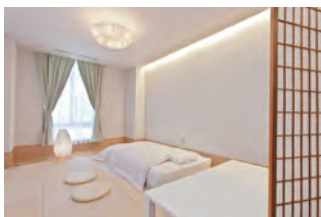
【グループ内実習施設】

■栃木県

国際医療福祉大学病院バースセンター
ばーすはうす ママ♡はーと【大田原市】

■東京都

山王病院【港区】
山王バースセンター【港区】



●ばーすはうす ママ♡はーと

【グループ外実習施設】

■栃木県

那須赤十字病院【大田原市】
さくら産院【さくら市】
大野医院【鹿沼市】
助産所ままと赤ちゃんの家【那須塩原市】
こうのとりの助産院【大田原市】

■東京都

ファン助産院【杉並区】
矢島助産院【国分寺市】

■神奈川県

山本助産院【横浜市】
みやした助産院【横浜市】
助産院バースあおば【横浜市】
さくらバース【川崎市】



●国際医療福祉大学病院



●山王病院

